

可児市史第2巻・第3巻の予約受付中

# 進む市史編さん

発行に向けて

編集も大詰め

現在市は、可児市史第2巻（8月発行予定）と第3巻（秋ごろ発行予定）の予約注文を受け付けています。今回発行する可児市史はどちらも「通史編」で、可児市の歴史のうち古代から平成17年の兼山町との合併までを記述しています。今回は、一足先に、その構成と内容を紹介します。

図や写真、表を多く用い、わかりやすく、読みやすくしました。また、2巻にはカラーの美しい絵図編を、3巻には見て楽しいカラーの可児市年表を別冊として付けました。

## 可児市史第2巻 通史編 古代・中世・近世

### 【内容と構成】

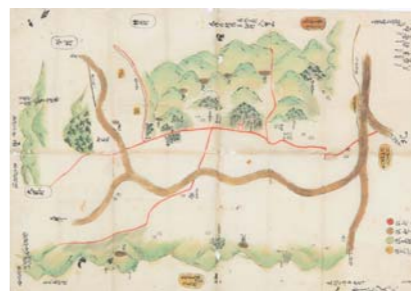
- 第1部 古代・中世
- 1章 古代国家の形成と可児地域
  - 2章 律令制下の可児郡とその変容
  - 3章 中世可児地域の荘園・公領
  - 4章 武士政権の誕生
  - 5章 土岐・斎藤氏の興隆
  - 6章 戦国動乱の世
  - 7章 中世の宗教文化
  - 8章 中世の産業
- 第2部 近世
- 1章 近世社会の成立と領主

### 【別冊絵図編】

- 小字一覧・村の変遷・神社祀祀変遷表・年表など



千村重長画像  
(木曾古文書歴史館所蔵)



下切村絵図（下切区資料）



第2巻のイメージ

## 可児市史第3巻 通史編 近・現代

### 【内容と構成】

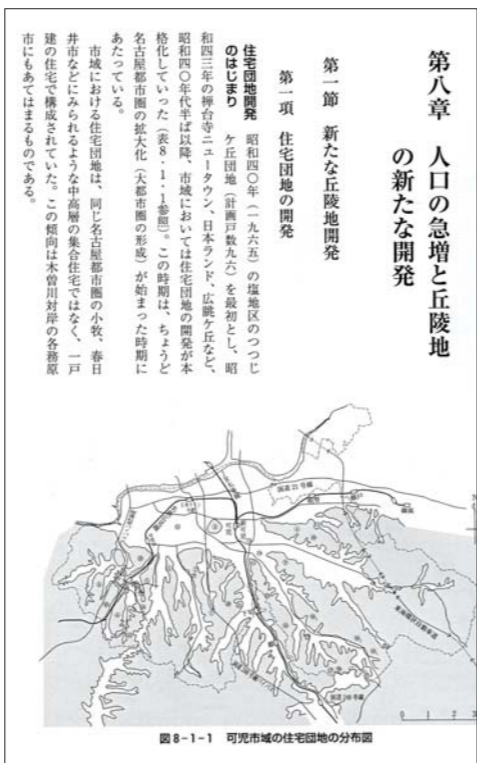
- 1章 明治維新期の可児
- 2章 近代社会の形成
- 3章 近代社会の確立
- 4章 近代社会の展開
- 5章 満州事変から太平洋戦争へ
- 6章 戦後改革と復興
- 7章 可児町の誕生
- 8章 人口の急増と丘陵地の新たな開発
- 9章 可児市の誕生
- 終章 新しい可児市を目指して

### 【巻末付録】

- 市町村の合併変遷図・公職者一覧・学校変遷表・役員組織変遷図
- 別冊 可児市近・現代歴史年表

近代では、最初に明治維新期の村と人々にスポットをあてました。「村の中の御一新」はごう進んだのか、そして明治から大正期、さらに戦前の地方行政や可児の人々の暮らしはどつであつたのかを、史料をもとに紹介します。

可児市域は、昭和40年代に大きな変貌を遂げました。人口が急増し都市化が進み、農村から文化都市へと変わったのです。目まぐるしく変化した市域の現代史について、豊富なデータをもとに記述しました。



第3巻のイメージ



市制記念パレードの様子（昭和57年）

本文では触れられなかった細かい出来事を網羅した年表で、市内の出来事について詳しく調べることが出来ます。写真や資料も随所に取り入れ、見て楽しむことができます。

### 可児市近・現代歴史年表



広見の町並み（昭和29年）

○古代では、泳宮の伝承や律令制下の可児の郡や郷などについて、文献資料とともに最新の発掘資料から考えられています。

○中世では、市域に存在した荘園や可児地域周辺の戦国武将の動向について、詳しく紹介します。

○江戸時代では、久々利村を本拠地とした千村氏や、同村の領主山村氏について、新たに発見された史料をもとに詳しく記述します。

さらに、学問や文化、山や川を巧みに利用して暮らした人々の生活、寺社、交通といった分野についても記述しています。

### 【別冊絵図編】

可児市に関する江戸時代の絵図35点を、カラー写真で掲載します。絵図に描かれた風景と現在を比べて見るのも楽しいものです。

市史編さん室へ電話または電子メール (sishensan@city.kani.lg.jp) のちひかわお申し込みください。

### 第3巻の申込

広報かに8月15日号に折り込み予定の予約申し込みはがき(切手不要)をご利用いただくか、市史編さん室に電話または電子メールのいずれかでお申し込みください。

### 価格と体裁

- 可児市史第2巻 通史編 古代・中世・近世
- ・B5判・約800ページ
- ・別冊 絵図編(カラー)
- ・価格 3,500円(税込)

- 可児市史第3巻 通史編 近・現代
- ・B5判・約800ページ
- ・別冊 近・現代歴史年表(カラー)
- ・価格 3,500円(税込)



申込・問合せ 市史編さん室

可児市史第2巻  
第3巻の予約方法  
第2巻の申込  
現在予約申込を受け付けています。